

海第十号の作品について

海のホームページには、「ニュース」等のコラムを設け、海の作品に対していただいた批評や感想等の内容の要旨を掲載し、同人個々の参考になるようにしています。第十号（通巻第七十七号）の作品に対しお寄せいただいた感想等の一部（抄）を、左記に掲載させていただきます。御意見等をいただいた各位に、心から感謝申し上げます。

◇詩の部

笹原由理作品について

「涼風」

風鈴の音が響いてきました。―S様
景色がはつきりと見えます。―T様

「かさぶた」

短い言葉で感動させます。―H様

「かさぶた」 「涼風」

言葉の切っ先が、ススキ葉のように優しくしなやかです。句切れにも似た間が醸し出されています。閉塞しがちな感覚の地平に、言葉の宛先も、産毛のようにそよよいでいます。

―西日本詩時評・岡田様

有森信二作品について

「産声」 「姉」

考えさせられる詩です。―T様
妙に気になりました。―S様

◇エッセイの部

上水敬由作品について

「おりえんたる」

文章が美しい。知的であり、人生の年輪を感じさせます。―H様
和田奈良子作品について

「折り返し地点」

―H様の意見は上水作品と同じ。

懐かしく感慨深い作品です。―F様

半生を振り返る筆致が身に染みます。

―西日本文学展望・長野様

◇翻訳の部

「牧草のオー・ヘンリーの作品」

毎回楽しみにしています。

―F様、Y様

◇小説の部

牧草 泉作品について

「百年のナグネ」

面白く読んだが、ナグネという言葉の説明や国情等にも踏み込んでほしい。

―H様、N様、S J様

高岡啓次郎作品について

「一日だけの長い旅」

すつきりと読み応えのある作品です。

―いずみ同人会様、S J様

この作家の原点。情に溺れずに書いた。

―N様

有森信二作品について

「幸福の詩」 「海神」 「コスモス」

改作は、大胆に行わねばならない。

―西日本文学展望・長野様、H様

文章の細部が大切。読者に何を訴えようとするのかを明瞭にするべきです。

―H様、S J様

一誌に、複数作品の掲載はマイナス。

―H様

モチーフの工夫がほしい。

―S S様

◇海の全体について

海に活気と、やる気を感じる。

―H Y様、I 様、M 様、N 様、S T 様

Y 様

新規会員に期待する。

―S J 様

一誌には、一人一編の掲載が望ましい。

―H 様

(有森まとめ)